

越谷レイクタウンは計画面積約 225.6ha のニュータウンで、中央の調節池は約 39.5ha を占め、橋長 105.8 m、幅員 16.8 ～ 20.3m のこの橋は、調節池から流れ出す水路を跨ぐ道路橋として計画され、予備設計段階で複数案検討を経て 3 径間連続 PC エクストラードスド橋が選定された。実施設計段階でアプルは橋面工を含む景観設計を担当した。新たなまちの南玄関口に位置するための「シンボル性」と「ゲート性」を付与すべく、主塔上部に照明柱をデザインし存在感を強調しつつ、夜間は光のランドマークにもなる。その他、主塔周りにパルコニー形状、PC 斜材の色彩、高欄や歩車道境界防護欄、路面舗装、橋柵裏化粧板折など、意匠全体の調整を行っている。2010（平成 22）年 3 月に竣工し、「越谷ユルタウン・せいたかしぎ橋」と命名された。



石の親柱に埋め込まれた橋名板



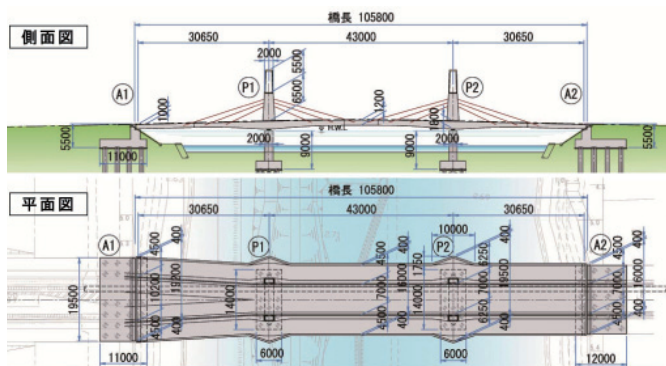
車道側から橋の主塔と上部照明の構成をみる



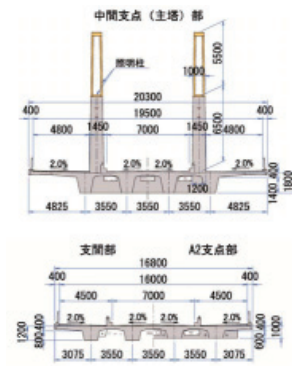
主塔上部の照明フレーム



橋の夜景



側面図／平面図



断面图



南側から橋の全体像を望む

諸元 所在地：埼玉県越谷市東町 事業主体：UR都市再生機構・埼玉地域支社 道路規格：第4種3級、型式PC3径間連続エクストラードズ橋、全長105.8m(30.65+43.0+30.65m)、総幅員16.8～20.3m(有効幅員16.0～19.5m) 施工：井住建設、工務：2009(平成21)年4月～2010(同22)年3月、設計：日本技術開発 担当※1：1.現職エイト日本技術開発、景観設計：アールプラン設計事務所 担当：中野、加藤、笠間